

お姉ちゃんが、手伝ってあげ・る

ゝもう射精が止まらない。僕と姉とのシヨシヨ、オナニー生活ゝ

■「添い寝でお話

【美佳】

あれ、もしかして…もう寝ちゃってる？

あ…起きてたんだね

その…こんな遅い時間に来ちゃって、ごめんね

でも、お姉ちゃんね、君のことが、心配だったの

最近、あんまり眠れないって、悩んでいたでしょ？

…それでね、小さい頃みたいに、誰かと添い寝することで、

安心して眠れるんじゃないかって思ったから、こっそり部屋に来てみたんだけど…

その様子だと…、眠れそうにない？

そっか…お姉ちゃんが来たからには、もう大丈夫

昔みたいに、おんなじベッドで添い寝してあげる

…少し子供っぽい？ 私から見たら、君はまだ可愛い弟なんだから、

お姉ちゃんの言うことは聞かないとだーめ、くすっ

ぐっすり眠れるまで、君の隣に寄り添ってあげるから

お姉ちゃんも、君の毛布の中に、入ってもいいかな…？

【美佳】

…ふふ、あったかい

肩がくっつき合って、温もりが…伝わってくるよ

それに…この毛布、君の匂いがして、落ち着くな…

ん…はあ、すんすん…

え、匂い嗅がれるの、恥ずかしい？ 家族なんだし、それくらい許してよ

その代わり、お姉ちゃんの匂いも嗅いで良いから、ね？

…ほら、遠慮しないで

お姉ちゃんと、もおっと、くっついちゃお

ん…すりすり、ふふ

どうかな、お風呂上りだから、ラベンダーの良い香り、する？

良かった…大人しめの香りで、嗅いでいると、だんだんリラックスしてくるんだって

…今日は、このまま朝が来るまで、ずうっと側にいてあげるから

お姉ちゃんと一緒に、きもちよく寝ちゃおうね…

ん…すう、すう…すう、すう…

…少し、眠くなってきた？

んー…あのね、お返事はしなくて良いから、そのまま、聞いてほしいんだけど…

…君が寝不足になったのって、私のせいだったり、する？

あー、急に言われても、良く分からないよね

…ええと、そのことを話す前に、まず謝らなくちゃいけなくて…。ごめんね

実は、悪いとは思ったんだけど、部屋の中が散らかってたから…

お姉ちゃん、勝手に入っちゃって

お掃除をしている時に、エッチなDVD…見つけちゃったんだ

それね…お姉ちゃんと、弟くんが…あ、そこまで説明しなくても、良い？

…そう、だよ。恥ずかしいもんね…だって、姉弟で…あんなこと…

うう…それでね、もしかして…だけど

私のこと、意識しちゃって、寝不足になったのかなって…

…あー、凶星、なのかな。でも別にね、怒っているわけじゃないんだよ

お姉ちゃんのこと、そういう目で見てたのは、少しびっくりしたけど…

君も男の子だから、仕方ない部分はあると思うし…全然、ヘンじゃないよ

私も、気付いてあげられなくて、我慢…させちゃったから

…その、欲求不満なら…お姉ちゃんが、お、オカズになって…あげるっていうのは、
どうかな

え、オナニー、一人じゃ上手くいかないの？

そう…だったんだね、お姉ちゃんをオカズにしたら、心がもやもやして…

射精、できないんだ

じゃあ…私じゃなくて、他の女の子でも…ダメなのかな

…そう、おちんちん、あんまり硬くならないんだ…

もう、そんなに落ち込まないで…

私が、一人でもオナニーできるように、色々と教えてあげる
ふふ、言ったでしょ？ お姉ちゃんが来たからには、もう大丈夫だつて

…君がぐっすり眠れるように、一緒にオナニー、頑張ってみようね？

■ 左手の皮オナニー、乳首舐めで勃起しよう

【美佳】

まずは、ズボンを脱がないといけないから、ベッドから出ようねん、しょ…

【美佳】

次は、寝巻きの下…脱がしちゃうね

…恥ずかしいのは分かるけど、じっとしてなきや、オナニーできないよ？

ん？ 自分で脱げるの？ ふふ、ごめんね、つい子供扱いしちゃって…

だって、ちょっと前までは、こんなに小さかったんだよ

私の後ろをついてきて、ふふ、可愛かったなあ

…あ、もちろん今でも、可愛いって思ってるよ

え？ 私にとっては、ちょっと前のことだったの

それより…寝巻きの下、ちゃんと脱げる？

恥ずかしいなら、やっぱりお姉ちゃんが—

あ…くすっ、おちんちんは、前見た時と、あんまり変わってないかな

…なーんて

お姉ちゃんが見ててあげるから、これから大きくして、立派なおちんちんにしようねさ、パンツもちゃんと脱げたし、いよいよ本番だよ

ティッシュを二枚、足りなかったら、三枚くらい用意して、ベッドに座ろうね

私も、君の隣に…ん、しょ

【美佳】

ベッドに座ったら、足を広げて、少し伸ばした方が、やり易いのかな

…うん、じゃあ、これからオナニーしていくんだけど、

その前に一つだけ、気を付けてほしいことがあります

勝手にしちゃうのは、ダメだからね

オナニーは、お姉ちゃんの言う通りにしてもらいます

…どうしてか、分かる？

私の考えだけだね、お姉ちゃんをオカズをすると、悪いことしちゃったなーっていう、後ろめたい気持ちになると思うんだ

きっと…隠れて、一人でしてるせいもあるかな

でも、私がそれを許して、オナニーのやり方にまで口を出したら、

そういう気持ちもなくなるんじゃないかな

…ね、良い考えでしょ？

だから、オナニーはお姉ちゃんの言う通りにしてね、良い？

大丈夫なら、オナニーしていくよ

まずは、左手でおちんちんを握ってみて

…そう、利き手とは反対の方

柔らかなおちんちんを、ぎゅうって掴むの

…どう？ 少し、不思議な感じする？

そうだよねえ…普段は、右手でおちんちんを握ってるもんねえ

…けど、最初は左手から

おちんちんを握ったまま、シコシコ、シコシコ…

ちゃんと、手を動かして…そう、私のペースに合わせるように、

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ…

そのまま、お終いつて言うまで、上下にするんだよ…はい、シコシコ、シコシコ、シコシコ…シコシコ

どうかな？ 最初は、あんまりおちんちん、感じてこないよね

左手だから、いつもよりぎこちないと思うし…オカズも、ないもんね

くすっ…大丈夫、オカズは、これから用意するから

君はそのまま、左手でおちんちん、シコシコ、だよ

ん…その調子、おちんちんも少し、感じてきたかな

じゃあ、そろそろ私も…オナニーのお手伝い、するね

ん…君の服を捲って…可愛い乳首を、れる…

ふふ、驚いた？ 男の子でもね、乳首って、感じちゃうんだよ

…なんて、全部…君のために、調べたんだよ

だって…男の子のオナニーの悩みって、意外と多いって前に授業で習ったから…

そういうこと教えられるの…お姉ちゃんしか、いないでしょ？

ん…れる、んれる、れるう…はあ、だからあ、こういうエッチなこと、

いっぱい勉強したんだよ

んれる、んちゅっ、れる、れるお…

ん…はあ、お姉ちゃんの舌で、乳首感じながら、おちんちんシコシコ、続けてね…？

はあ…んれる、れる、れるお、れる、んれる、はあ…んれる、れるう…

んんう、はあ…ちゅっ、ふふ、乳首にキスされるのも、気持ち良いでしょ？

…ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅうううっ、はあ…んれる、んれるう…

君の乳首、勃起しちゃったね

左手のおちんちんも、私の乳首責めをオカズにして、だんだん、大きくなってるみたい
今度は…服の上から、自分で乳首弄ってみよっか

当たり前のことだけど、左手のオナニーも、休んだらダメだよ

勃起まで、あともうちょっと…。一緒に、頑張ろうね

…次は、おちんちんシコシコしたまま、乳首の方も、意識してみて

右手の爪で、服の上から優しく引っ掻くように…こしょしょ、こしょこしょ…

ふふ、気持ち良い？ そうやって、くすぐるように刺激したり…

あとは、人差し指を使って、乳首の周りを、くるくる丸を描くみたいに刺激するのも、
気持ち良いよ

さあ、やってみて…人差し指で、乳首の周りをくるくる、くるくる…
くるくる…くるくる

きつと、おちんちんを抜くのは、違う快感なんじゃないかな
乳首も弄り続けたら…新しい性感帯になったりして、ふふっ

…あ、おちんちん、ちゃんと勃起できたね

慣れないオナニー、よく頑張ったね、良い子良い子

これで、左手を使ってシコシコするのは、もうお終い

一旦、オナニーするのストップ、だよ

おちんちんのシコシコ止めて、左手を放して

うん、ちゃんと止めれて、偉いね

次は、君の大好きな、右手の番だよ

射精するまで、もう一度、シコシコ頑張ろうね

■3-A 耳舐めオナニー

【 美佳 】

おちんちん勃起して、苦しいよね

亀頭はもうパンパンに膨らんで、少しだけ、我慢汁も滲んでる…

… 良いよ、右手でおちんちんぎゅってして、またシコシコ、再開してね
今度は自分の好きなペースで、おちんちん弄って良いよ

さあ、おちんちんシコシコ…シコシコ

へえ…男の子のオナニーって、けっこう激しいんだね

さっき左手でしてた時は、ちよっとゆっくり目だったかな…ごめんね

けど今は、右手で君の自由にオナニーしてて良いから

私は、そのお手伝い…するね

こうして、耳の側で囁いたり…くすっ

さっき囁いた時、君の身体、びくって震えてたんだよ

その、右手の中にある、おちんちんも

君って…耳、弱かったんだね

こんなに近い距離で話したら、ゾクゾク、しちゃうかも

うふふ…ふう——

ほら、またびくんって反応した

私の吐息で、感じちゃったね

もおっと…耳がゾクゾクするようなこと、してあげるから

気持ち良く射精できるように、右手を動かしてね…ん、んれろ、れる、れろ、んはあ…

君の耳、とっても美味しい…ふふ、れろ、れる、びちや、んれろ、んれるう…

はあ…んれる、れる、れるろ、んれるう…んう、ちゅっ

耳なのに、キス、しちゃった

はあ…んれろ、れろろ、れるろ、れるう…もう一回、ちゅうう…ちゅばあ…

耳にキスされるの、感じちゃう？

気持ち良いんだね、良かったあ…何て言うか、自分の想いが伝わるようで、キスって、
良いよね

…え、どんな想いって…そんなの、一つしかないよ

君のことが、大好き、っていう気持ち

唇を通して、いっぱい、感じてね…

んっ…ちゅ、ちゅ、ちゅう…はあ、好き、大好き…んちゅっ、ちゅっ、ちゅう、ちゅう…
…
はあ…耳の後ろにも、んう…ちゅっ、ちゅう、ちゅう…はあ
キスマーク、ついちゃうかもね…
私が、君を愛した証…ふふ
もつと、その耳…舐めちゃうね…んれろ、れるう、んちゅっ、れろろ、んれるう…
はあ…君の耳、私の唾液で、べとべとになっちゃったね
どうだった？ オナニー、ちゃんと進んでる？
わあ…溢れた我慢汁で、おちんちんの方も、濡れてるね…
扱くたびに、ぐちゅぐちゅって音がして、とっても、エッチ…だね
ん、はあ…今度は、左の耳も、舐めてあげるから
反対の方に、座り直すね

【美佳】

ふふ…左耳も、いっぱい愛しちゃうから
射精できるように、私のこと、もつと感じてね

…ほら、このままでも充分距離が近いけど、耳のギリギリまで顔を寄せるとお
はあ…吐息の熱さ、感じるよね

それとも…囁いた方が、分かり易いかな
吐息多めだから、左耳、熱く火照っちゃうかも…ふふ
ほら、もう耳の先まで、赤くなってる
熱いの、冷ましてあげないとね…

んう…ふううう—

…どうかな？ 耳の熱、引いてきた？

じゃあ…もう一度

ん…ふうううう—、ふうううう—

甘い吐息で、左耳、涼しくなったでしょ

おちんちんの方は、まだ真っ赤で、とっても熱そうだけど…くすっ
もつと、激しくしても良いんだよ？

お姉ちゃんの側で、いつも通りのオナニー、見せて
もちろん、恥ずかしいのは分かるけど、今はその恥ずかしさも、快感に変わるんだよ
お姉ちゃんも、君の耳に、恥ずかしいことしちゃうから…精液出したくなるように、
もおっとシコシコ、頑張ろうね

んう…れる、れろろ、んれるう…はあ、左耳、まだ熱いね…れるろ、れるう、れろろお
お姉ちゃんの唾液で、余すところなく、濡らしちゃうから…んれる、れるる、れろお…
はあ…んれろろ、んれるう…んう…ちゅう、ちゅろ、んちゅう…れろろ、んれるう…
ああ…耳の穴も、ほじくるように…んんう、んれるう…れろ、れろろ、んれろろ…っ
おちんちん扱くペース、早くなってきたね…うん、その調子だよ…んれろ、れる、れろお
今日は、気持ち良く射精して、ぐっすり、眠ろうね…私、側にいてあげるから
精液出るまで、あともうちよっと、シコシコ、シコシコ、だよ
んれろ、んれるう…んちゅう、んれろろ、れるう、れろお…
はあ、んんう…んれる、れろお

はあ…どうかな、精液…ちゃんと出そう？

あと少し、なんだね

私も手伝うから、最後まで、やり抜こうね…んちゅう、んれろ、んれるう…はあ、んれろ、
ぴちや、んれるう…んれる、んちゅう、はあ…きつと、たくさん精液出せるよ
床にこぼれるといけないから、亀頭の側に、ティッシュを用意して…
出す時は、ちゃんと被せるんだよ

うん…そのまま、シコシコ、シコシコ、シコシコシコ

ああ…おちんちん、気持ち良くなってるよ…精液、ティッシュの中にいっぱい、
出ちゃうよ

私、ちゃんと見てるから、射精…してえ

んうう…んれろ、れるる、んちゅう、んれろ、んれるう…ちゅっ、ちゅう、ちゅうう…っ

んっ、ああ…！ おちんちん、びくびくって跳ねて…射精してるん、だよね…？

わあ…まだ、おちんちん震えてる…

ん、はあ…精液、いっぱい出せた？ お姉ちゃんに、ティッシュの中身、見せてくれる？

あ…すごい、塊みたいな精液、ティッシュに込み込んじゃってる…ん、すんすん
はあ…エッチな匂い、鼻の奥まできてる…

ちゃんとオナニー、できたんだね…

たくさんシコシコして、偉かったよ…ふふ、良い子良い子、頭なでなで

今日は、気持ち良く射精できたけど…

また、オナニーできなくなったら、手伝ってあげるから

いつでも私のこと、頼ってね？ 一人で、気持ち良くないオナニーしたら、めっ、だよ
お姉ちゃんとの約束、ね？

■3-B 耳元で囁きながら右手で皮オナニー

【 美佳 】

おちんちん、こんなに張り詰めて…痛くは、ないんだよね

そっか…痛みは感じないけど、もどかしくて…ムラムラ、しちゃうんだ
そういう時って、右手で何度もシコシコしたら、楽になれるのかな

…うん、良いよ…いつもおちんちん触ってる手で、気持ち良くなるうね

私は、君の耳元で、そのお手伝い、するから

ほら、もうシコシコして、大丈夫だよ？ 勃起したおちんちん、慰めてあげて

…ん？ なんか、遠慮してない？ お姉ちゃんの前だからって、恥ずかしがらないで…
普段通りに、して良いよ

我慢しないで、もっと手の動きを…大胆に

わぁ…ちゃんとシコシコできて、偉いね

君って…いつもこうやってオナニー、してるんだ

…お姉ちゃんに、内緒で

ふふ…良いんだよ

親しい人をオカズにするのって、気まづくなっちゃう？

…私は、そんなことないけどな

…だって、実は私ね、君のこと、オナニーに使ったこと、あるんだよね

家族には…内緒、だよ

くすっ…驚いたでしょ？ 私、いつも君のこと考えちゃって…頭から、離れないんだから。

体調は大丈夫かな、とか…お友達と仲良くしているかな、とか…

他には…好きな女の子はいるのかな、なんてことも考えちゃうし

あとは…性の、ことも…

ん…その…ね、前までは君の身体って、小さかったのに…

今は、背も伸びたし、お姉ちゃんよりも…身体、おっきくなっちゃったでしょ

その…おちんちん、も

ほら、前に、裸を見ちゃったこと…あったよね

その時に、君のおちんちん、昔一緒にお風呂に入った時と比べて、全然違うなあって、
思っ

男の子だし、やっぱりエッチなことも…オナニーもしてるのかなって、思ったら…

私、ムラムラ：しちゃって

：お、おまんこ、弄っちゃったんだ

：あ、君の身体、今びくって、震えたね

：あんまり、自信はなかったんだけど：耳元で、エッチなこと囁かれるのって、興奮、する？

興奮、するんだね：

じゃあ、私の声、オカズにして良いよ：

前、お姉ちゃんの声、褒めてくれたよね

すごく、嬉しかったなあ：

私の声で、シコシコするの、捗るなら：私、頑張って、エッチなこと囁くね

：んーと、例えば：普通、オナニーって、何回くらい、するのかな、とか

男の子と女の子じゃ、自慰の回数って、違うと思うんだけど：

へえ：けっこう、多いんだね

私は、週に、三回くらい、かな：

多い時は、もっと：しちゃったり、するんだけど：

女の子なのに、エッチなお姉ちゃんって：へん、かな？

え？ 大好き：なの？ 嬉しいな：

私も、君のこと、大好きだよ：

だって、オナニーのオカズに、しちゃうくらいだもん、ふふ

姉弟揃って：エッチだね：：ん、ちゅっ

はあ：耳に、ちゅう、しちゃった

んっ：はあ、良いよ、もっと、シコシコするの、激しく：してえ

ん、ああ：亀頭と、皮が擦れて：エッチな音、してるね：

んう：んれろ、ちゅっ、んれろ、れる、れろお：はあ

このまま、お姉ちゃんの声オカズにして、射精、してね：

エッチな言葉言うの、頑張るから：

えーと：さっき、反応したのは：

お、おまんこ：？

あ、シコシコするの、また早くなったね：

もっと、言っただげる：

ん：おまんこ、お姉ちゃんのおまんこ：

君に興奮して：自分で慰めてる、エッチな、お姉ちゃんのおまんこ：

ああ…私の顔、熱くなってる…

息、荒くなって…私も、ヘンな気持ちに、なってきた…

んう…君のオナニー、こんな近くで見ながら…エッチな言葉、囁いたから…んっ、はあ…

普段は、こんなこと、言わないんだよ…？

友達同士でも、こういう話、デリケートだから全然しないし…

私、そこまでエッチな性格じゃ、ないんだよ…

…君の前、ただだから…ね

んっ、ああ…きっと今、ショーツ濡れちゃってる…

エッチなお姉ちゃんに、なってるう…ん、はあ…

君も、興奮…してるんだね

おちんちん休まずにシコシコして…溜まった精子、出して

きっと、すっきりできるよ…

今まで感じてた、もどかしい気持ち…全部、精液に変えて

ティッシュの中に、ぴゅっぴゅ、しようね

お姉ちゃんが、見守ってあげる…

我慢なんて、しなくて良いからね…

ぴゅっぴゅじゃなくて、おしっこする時みたいに、びゅーびゅー、かもね

…精液、びゅーびゅーしちやお

私も協力…するからね…んう、んちゅっ、んれろ、んちゅう、んれろお…

はあ、おちんちんしゅっしゅして、濃い精液、搾り出すんだよ…んちゅう、ん、れろお

んれる、れろ、んちゅう、はあ…れろろ、れるう、びちや、んれろ、れるう…

はあ…んれろ、ちゅっ、ちゅう、んれろ、れろろお…

ああ…もう、出るんだね…っ、射精するところ、見てるから…

ティッシュ被せて…思い切り、精子びゅーびゅー、だよ

…うん、あとちょっと…、お姉ちゃんの声をおカズに、イッてえ…

私のお…んう、エッチな声で、精液たくさん、出してえ…っ

ん、ああ…イクの、おちんちん震えて、もう…んっ、あ、あ、んん…！

ああ、びくびくって、何度もイッて……射精の勢い、すごい…

ん…真っ白な精液、ティッシュから溢れて…はあ…

んう…すんすん、すん…ああ…これが、君の…んう…

はあ…オナニー気持ち良くてきたね、良い子良い子…よしよし

…あ、そうだね、もう子供じゃないもんね

おちんちんも大きいし、精液だって、こんなに…

…あのね

お姉ちゃんに、頭撫でられるの、嫌だったり、するのかな

…大丈夫？ 良かったあ…

やっぱり、大きくなっても、君はずっと、お姉ちゃんの可愛い弟くんだから

…また、私に面倒見させてね

…その、エッチなことも、ね？

【 美佳 】

ええと…もう一度だけ、確認するね？

私は、君の耳元で、この…エッチな小説を読み聞かせれば、良いんだよね
それをオカズにして、君がオナニーをする…

うん、分かった。

あんまり自信はないけど、朗読…してみるね

昔、君に絵本を読んであげたことはあったけど、まさか官能小説を読むことになるなんて
…想像できなかったなあ

…お姉ちゃん、一生懸命朗読するから、君はいつも使ってる右手で、おちんちん遠慮なく
扱いちゃってね

気持ち良く抜けると良いんだけど…じゃあ、読むね

深い夕焼けに染まる世界で、先輩の真っ白な手が蠢く。はだけたシャツの合間に
差し込まれる指先が、優しく肌を撫でた。異性の、柔らかなも繊細な感触。

それだけで僕の身体は反応してしまう。

どうして、こんなことになったのだろう。

興奮に乱れた思考で、先ほどの出来事を思い返す。

僕は放課後、いつものように文芸部室へ足を運んだ。中は無人で、パイプ椅子に掛かった
灰色のカーディガンと、起動済みのノートパソコンだけが目についた。それは先輩がこの
部屋にいた証だ。僕は好奇心に駆られて、ちよつとだけなら良いだろうと、
パソコンの画面を盗み見た。

表示されていたのは、書きかけの小説。ただし、普通の小説ではなかった。画面の中では、
何も身にまとっていない女の子が、自らの秘部を晒していた。

だらしなく大股を広げ、その中心に走る一本の筋が口を開け—と、
生々しい描写が紡がれている。これは俗に言う官能小説ではないか。

そう気づいた時、僕は夢中になってその小説を読み進めていた。

あの先輩が、こんな卑猥な文章を書いているなんて。

そう思うと、知らずの内に身体が熱くなった。

全身に帯びた熱はやがて、股間の一点に集まっていた。

下着の中で独りでにモノが跳ねたのを、何度か感じる。

マウスを握る手にじんわりと汗が滲んでいた。

それ、読んじゃったんだね。私の秘密、だったのに……」

後ろから声を掛けられて、呼吸が止まった。

咄嗟にマウスから手を放す。

耳心地の良い、けれど今一番聞きたくない声は、僕を咎める口調ではなかった。

普段よりも艶を含んでいて、どこか得体の知れない異性の響きがある。

そんなに夢中になっちゃって……女の子の身体、興味あるの？」

恐る恐る、僕は後ろを振り返った。

いつもの先輩だった。柔らかなセミロングの髪に、穏和な顔立ち。

ふわりと花が咲くような微笑を口許に浮かべている。なのに、肌が栗立った。

窓から差し込むオレンジ色の光に、少し翳りが混じって、先輩の輪郭をぼかす。

一瞬、表情を無くした彼女に、僕は息を呑んだ。

おふ……怖がらなくても大丈夫。私が、全部教えてあげるから」

光の向きが変わり、再び鮮やかに浮かび上がった先輩は、夕焼けに縁取られた手を動かす。制服のボタンを一つ一つ、焦らすように外していった。

肩から制服が、真っ白なシャツが、腰回りからスカートがずれ落ち、

衣擦れの音を響かせる。薄桃色の下着姿になった先輩は、形の良い唇を舌でなぞり、

立ち尽くす僕へと覆い被さって――

「こんなに硬くしちゃって……興奮、してるんだ」』

…あ、今のは小説の台詞だからね。

…あの、私、上手く読めてるかな。興奮……してくる？

オナニー、ちゃんと進んでるんだね、良かったあ

こういう本って、普段言わないような、エッチな言葉もあるから…

私も、少しヘンな気持ちになってきたかも

…ん、じゃあ、続き読むね

『「こんなに硬くしちゃって……興奮、してるんだね」

先輩の陶然とした声に、意識を呼び戻される。

いつの間にか、僕も着ていた制服を脱いでいて、どこるか下着すら身に付けていなかった。

露わになった素肌を、スケートリンクでも滑る手つきで、

先輩のほっそりとした指がなぞっていく

。乳首からお腹、おへそ、行き着いた先にあるのは勃起したペニスだった。

皮、少し被っているね」

先輩の何気ない一言に、興奮とは別の熱が、かっと頬に昇った。

僕の陰茎は真上に伸び上がっているというのに、窄んだ巾着のような皮が

亀頭を覆っていた。思わず、勃起したモノから目を逸らしてしまう。

大丈夫だよ。私に任せて」

先輩は優しく微笑み、ゆっくりと亀頭に貼り付いた包皮を剥いていった。

その刺激に腰が震える。

はい、全部剥けたよ」

先輩の言う通り、ピンク色の亀頭が顔を出している。彼女はペニスを握ったままの手を、上下に動かし始めた。皮と亀頭が擦れて、くちゅ、くちゅ、と普段オナニーの時に聞いている摩擦音が、僕のものではない手によって響く。

どうして、こんなこと……っ」

僕の喉から喘ぐような声が漏れた。先輩は微笑んだまま手淫を続けている。

だって、エッチなこと、興味あるんでしょ？ だから、私が教えてあげる。

後輩の性教育も先輩の務めだから……ね？」

手首のスナップを利かせて、先ほどよりも大胆な動きで竿を抜いてくる。

ときおり敏感なカリ首に指の輪が引っ掛かり、堪らず小さな声を漏らしてしまう。

……僕はもう、限界が近かった。下腹部に甘い痺れが広がっていくのを感じ、床から腰が浮く。その反応に何かを察したのか、手の動きが止まった。

ペニスを甘く包んでいた温もりが離れる。

同時に、高まっていた性感も体内の底へと遠のいていった。

内心で肩を落とす僕の手前、四つん這いになっていた先輩がその上体を起こした。

凹凸の激しい身体を、柔らかな夕日の中でくねらせる

僕の上に跨る恰好となった先輩は、部室の天井を指しているペニス目掛けて、

くびれた腰を下ろしていった。

濡れたショーツがずらされ、ちらりと覗く割れ目と、ペニスの先端が出会う。

くちゅり、と淫靡な水音が聞こえたと同時に、僕のモノは生温かい秘裂に呑み込まれていた。』

…ああ、この二人、もうエッチなこと…セックス、しちゃったね

ん…はあ、良いよ、私のエッチな朗読聞きながら、もっとおちんちん抜いてね…

『これがセックスだよ。男女でしか味わえない、性の快楽』

僕の上で、先輩が乱れている。信じられない光景だった。けれど膣内を行き来する肉棒は、しっとり濡れた襞の感触と、強烈な圧迫感を覚えている。先輩と一つに結び付いて、僕たちはセックスしている。そう実感した時、先ほどの射精感が込み上げてくるのを感じた。

必死に歯を食い縛って堪えていると、ふと先輩の顔が歪んでいるのに気付く。

見ると、膣口から純潔の証が垂れ、太ももの内側で線を引いている。

先輩、やっぱり、ダメですよ。こんなの……」

大丈夫。私に、任せてね」

彼女は気丈な笑みを滲ませて、大胆に腰を打ちつける。潤んだ媚肉が締め付けを増し、僕は今にも精液を吐き出しそうだった。

先輩は背中に手を回してブラジャーのホックを外す。母性を象徴するような、豊かな乳房が溢れ出た。真っ白な膨らみに、桜色の小さな乳首が映えている。

わっ、ああ……」

先輩が小さく喘いで、肉付きの良い尻を弾ませる度、僕の興奮を煽るように乳房も波打つ。どれだけ上下に揺れ動いても、その綺麗な形は崩れなかった。色素の薄い突起が視界にちらついて、僕は体勢を戻す。先輩のあられない肢体を見ていたら、十秒と持たないだろう。

おまんこの中で、おちんちん震えてるね。もう、精液出ちゃう？」

けれども結局、この我慢は長く続きそうになかった。

僕は「はい」と答えてから、顎を引いて先輩の身体を眺めた。

熱に包まれたペニスがしなる。必死に抑え込んでいた射精感が、途端に昇りつめてきた。

膨れ上がっていく快感が、一つしかない出口を求めて燦っている。

先輩は駄目押しするみたいに腰をくねらせた。膣の中がうねるような錯覚を覚え、僕は何度も浅い息を吐き出した。

もう、ダメです。精液、出ちゃいます」呼吸の合間に、情けない声が混じる。

先輩の、中に……、ああ……！　いく、いっちゃう……」

良いよ、中に……おまんこに、出して。君の精液、全部受け止めるからね」

う、あ……っ！　ほんとにもう、出ます……いく、いっちゃう、ああ……」

もう一度、勢い良く桃尻が弾んだ。

肌に接していた肉の重みが消え、再び深く腰が沈み込んだ瞬間、

僕は有りつ丈の精を放っていた。快感が弾け、身体の震えと一緒に、ペニスが仰け反る。

密着する膣の内部がきつく締めまり、本当に根元から搾り出されているのではないかとさえ思った。

僕はしばらくの間、放心した頭で、ただ射精の快感を受け入れていた。

やがてその波が引いていくと、温かな満足感が胸に残る。

彼女も満たされた表情で、けれど僕の顔には無い、年上の余裕を湛えていた。

初めてのエッチ、気持ち良かった？」

先輩は分かり切った質問をして、自分の身体にうずめていたペニスを引き抜く。

中に収まりきれなかった白濁が、膣口から漏れ出した。

太ももに伝い落ちた精液には、微かな赤味が混じっている。

先輩は照れくさそうに胸元を隠した。』

…これで、朗読はおしまい

…どうかな。私も、このお話の男の子みたいに、夢中になってエッチな本読んじやって…
オナニーのお手伝い、ちゃんとできてた？

あ…ほんとだ、ティッシュの中、精液でいっぱい…
こんなに出してくれて、嬉しいな

…また、お姉ちゃんにできることがあったら、いつでも相談してね
今日みたいな、エッチな読み聞かせも…頑張るから
健全なオナニーで、すっきりしようね

■ 添い寝寸止めオナニー

【 美佳 】

今日も…君とおんなじベッドで添い寝できて、お姉ちゃん、幸せんう…君の体温、ちゃんと伝わってくるよ

あったかい…君も、私の体温、感じる？

柔らかくて…あったかいんだね

じゃあ…そろそろ、いつものしちゃう？

もう、ほんととは知ってるくせに…昨日だって、したでしょ

…何をとって、お姉ちゃんの口から言わせたいの？ 仕方ないなあ…

…今日の、オナニー

くすっ、ほおら、君のおちんちん、パジャマのズボン越しでも、興奮してるの分かるよ
お姉ちゃんの身体の感触と、甘い匂いで、勃起してる

…気づいてた？

さっきから君の硬いところが、私の太ももに、当たってるんだよ

そんなに慌てちゃって…可愛い

今日も、私が君のオナニー、手伝ってあげるからね

まずは、おちんちんを出してから、右手でぎゅうって握るんだよ
ティッシュを用意するのも、忘れずにね

…出来たかな？ 次は、私の言葉に合わせて、ゆっくりおちんちんシコシコしてみて

…いくよ？ おちんちんシコシコ…シコシコ…シコシコ

…シコシコ、シコシコ…

そう、まだゆっくり…だよ。少しずつ、気持ち良いのを、高めていこうね

シコシコ…シコシコ、シコシコ…シコシコ

シコシコ…シコシコ

どうかな…私の（そば）側でオナニーするの、気持ち良い？

恥ずかしいけど、興奮、するんだね

なら、少しだけペースを速くしよっか

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ

毛布の中なのに、おちんちん擦る音、よく聞こえてるよ

何だか、お姉ちゃんに内緒でオナニーしてるみたいじゃない？

一緒に添い寝して、ムラムラしちゃった君は、すぐ隣にお姉ちゃんがいるのに、我慢できなくておちんちんを弄っちゃうの

最初はばれないよう、毛布の中で静かに…

でも、もどかしくて、おちんちん切なくなって…

音を立てて、シコシコしちゃうの

くすっ…お姉ちゃんには、ぜーんぶ、分かってるんだけどね

今は見えなくても…憶えてるんだよ

君の…勃起する前の可愛いものと、エッチな気持ちになって、

大きくなったおちんちんの形…

それどころか、射精した時の、おちんちんの震え…精液の濃い匂い、君の快感に染まった顔も、本当にぜーんぶ、憶えてるんだよ

もうきつと、忘れられないと思うなあ…

あ、今少し、シコシコするの、速くなかった？

さっき言ったでしょ？ 私の言葉に合わせないと

勝手に気持ち良くなったら、だめだよー

…ふふ、もしかして、もう射精のこと考えてたの？

早く出しちゃったら、勿体ないでしょ…たまには我慢することも覚えなないと
というわけで、シコシコするの、一旦お終い

偉いね、ちゃんと気持ち良いところから、手を放せたね

このままだと可哀想だから、おちんちんの硬い棒のところじゃなくて、

先っぽの、ぷにぷに柔らかい亀頭を、弄ってみようね

きつと、我慢汁が滲んできてると思うから、それを人差し指に付けて、

亀頭を前後に擦ってみて

いくよ、はい…亀頭をすりすり、すりすり…

すりすり…すりすり

先っぽって感じ易いから、あんまり強く擦りすぎるのはダメだよ

我慢汁を優しく塗り込むように、すりすり…すりすり、すりすり…すりすり

亀頭って、やっぱり、感じすぎちゃう？

そうなんだ…女の子でいうと、クリトリスみたいところなのかな？

私は男の子じゃないから、良く分からないけど…おちんちんの先を弄るのって、
そんなに感じちゃうんだ

だって、君の顔、蕩けてるよ

すごく感じちゃって…でも、苦しそうだね

先っぽ弄るの、辛い？ それだけじゃ、いけそうにない？

おちんちんの、硬い棒のところを擦らないと、射精できないんだね

このまま亀頭を弄るのも辛そうだから、もう少しで終わりにしようか

あと…五秒くらい、かな

私が数えるから、それまで亀頭弄るの止めたらダメだよ

…え、もう五秒経ってる？ その五秒は、私が計るから

カウントがゼロになるまで、君は亀頭でオナニーしないと、だーめ

ふふ…そろそろ、数えるね

ごー……よん……

あ、ずるしたらめっ、だからね。

ちゃんと指の平らなところで、先っぽすりすりしなくちゃ

ほら、すりすり、すりすり……さーん……

にい……

いいいい——ちいいい——……

ぜーろ。くすっ、おちんちん、激しくシコシコして良いよ

はあ…オナニーの音、すごいね…

亀頭しか弄れなくて、苦しかった分、おちんちん抜くの、こんなに速くなっちゃうんだ…

私も、君が精液出易いように、オナニー手伝うからね…

んう、れる、れる、んちゅう……はあ

君の弱いところ、右の耳を、可愛がつてあげる…ん、ちゅっ、んれろ、れる、れるお…

れる、ちゅれ、れる、んちゅう、れる、ぴちゃ、れるお、んれる、れるちゅっ、んれるう

…

はあ…やっぱり、耳責められるの、弱いんだね…

どう…精液、出ちやいそう？ お姉ちゃんに、教えてえ…？

そろそろ、精子出そうなんだね…じゃあ、また少しだけ、我慢してみようね

今度は、おちんちんシコシコするの、止めなくて良いよ

手を止めないまま、私が十数えるから、それまで射精しないように、我慢してね

きつと、その方がたくさん精液出ると思うから

じゃあ、数えるね…じゅーう、きゅう……はち、なな…

ろお——く、ふふ

あと半分だから、もうちょっとだけ我慢、だよ

ごおー……よん、さあ——ん

……精液出るところ、想像して

……に、い——ちい

射精したい？ したいなら、お姉ちゃんにお願いしてみて

……ほら、もっとお願いしないと、ずうっと、このままだよ？

……ぜろ。いっぱい射精して

ん、はあ……君の身体、びくびく震えてる……

ベッド、汚れちゃってない？ ちゃんと、ティッシュの中に精液出せた？

わあ……ほんとだ、我慢した分、いっぱい濃いのが出せたね

ん……すんすん、はあ……いつもより濃厚で……刺激、強すぎるよ……ん、ああ……

大丈夫、だよ……別に、精液の匂いが嫌だったわけじゃなくて……

あの、ね……

君の、エッチな匂い嗅いでたら……その、私もね、ヘンな気持ちに、なってきた……

……どうしよう

私も……君にオナニー、見て欲しいな

ベッドから出て……オナニーの続き、一緒にしてみない？

■隣同士で相互オナニー疑似セックス

【美佳】

こうして、ベッドに一緒に座って

オナニーの、見せ合いっこをするの

君も、まだおちんちん、大きなまだよね

だから…どうかな？

君は、私のオナニーするところを見ながら、おちんちんシコシコして

私は、それをオカズにして…おまんこを、弄っちゃうの

もう…あそこが疼いて、我慢できなくて…本当、なんだよ？

おまんこ、切ないから…スウェットも、ショーツも、脱いじやうね

私の大事どころ、見てほしいな…んう…

はあ…下の方、全部…脱いじやった

ほら…よく見て

私の大事どころ…おまんこ

ん、ああ…見られてる。君の視線、熱くて…ん、こんなに濡れてきちゃった…

ん、はあ…ん、あつ、んう…

はあ…君も、おちんちん扱いて良いよ…私と一緒に、気持ち良くなる…？

ん、ああ…君も、大事どころ擦って…おちんちん、シコシコしてる…ん、ああ…

私たち、変態…みたいだね

変態、なのかな…んっ、あ、んう…

そう、だよね…普通の人は、姉弟でオナニー見せ合ったり、しないよね…ん、ああ…

でも、これえ…すごい、興奮する…ん、あつ、んんっ…！

はあ…はあ…上も、脱いじやうね…んっ…

はあ…

弟くんの前で、裸になっちゃった

ん、ああ…私のおっぱい、どう…かな？　へんじゃ、ない？

大きくて、形も…綺麗なの？

君にそう言ってもらえて、お姉ちゃん、照れちゃうな…

でも、すごく嬉しいよ…ありがとね

ん、あっ…でもね、この乳首、少し大きくないかな…？
んあっ、あ…こんなに硬くなって…んっ、ひやう…！

はあ…大きい方が、エッチに、見えるの？

んっ、乳首立っちゃう方が、興奮するんだね…ん、ああ…

お姉ちゃんのおっぱい、もっとオカズにして良いから…

私も、もっと乳首、弄るね…ん、ああ…指の間で摘まんで、くりくりって擦ると…んあっ

刺激、強い…んあっ、ああ…んっ、ふあっ、はあ…

君もお…私のエッチな声と、身体で…おちんちんシコシコ、激しくして…良いよお

私みたいに、息をはあはあ荒くして、んっ、ああ…！

ねえ、また、おまんこ弄っても、良い…？

私、乳首だけじゃ満足できなくて…あそこも早く弄って欲しいって、言ってるからあ…

良い…よね？ おまんこ、弄っても良い？

んっ…じゃあ、おっぱい触りながら、疼きっぱなしのおまんこもお…んああっ！

はあ…すごい…んんう！ ぴりぴりって、痺れるみたいに、おまんこ悦んでるう…んんっ

ああ…私も、普段こうやってオナニーしてるんだよお…

家族がいない時に、いやらしい声漏らして…私、欲しがりだから…おっぱいとおまんこ、

両方とも弄って…んあっ、自分を慰めてるの…んっ、ああ…

気持ち、良いよお…おまんこ、感じるう…

はあ…私の乱れる姿、よく見てえ…んあっ、ひやっ、あん…！

あそこの毛も、愛液で濡れちゃってる…ん、ふう…んんっ、ああ…

…今度は、クリトリスも、弄って良いかな…？

もう、皮が少し剥けて…んっ、ピンク色の中身が出てきてるの…んっ、ああ…

ここね、すごく感じちゃうから…良い、よね…？

んっ、ひやあっ、クリ、感じ易いから…

んあっ、こんなに…んんっ、ああ、あっあっああ…っ！

んんう——！ はあ…はあ…軽くいつちゃった…ん、ああ…

ごめんね、先に気持ち良くなってる…

でも私、まだ中でいってないから…おまんこの奥に、中指…入れちゃうね

ん、はあ…指の先、熱い中に…吞まれて…ん、ああ…濡れてるから、

どんどん奥に…んんっ

はあ…くちゅって、エッチな音、聞こえた…？ 中に入れたまま、動かすとお…

ん、あつ、ひやつ、んんう…！

中は弄らないで、焦らしてたから…んつ、すごい感じる…んんつ、ああ…

膣の中で、お姉ちゃん、気持ち良くなってる、よお…んあつ、はあ…はあ、んん…！

あつ、ああ…お腹の方を、指で優しく擦るとお…んんう、快感がじんわり広がって…ああ…

…あつ、んんつ、オナニー気持ち良いい…

んつ、ああ…君の、おちんちん擦ってるの、近くで見れて…

んあつ、ああ…指の動き、止まらない、よ…

んあつ、ああ…んつ、ああ…！

君の方からも、亀頭と皮の擦れる、エッチな音が聞こえて…んつ、ああ…

二人でオナニーしてるのに…セックス、してるみたい…んつ、ああ…

本当のエッチって、気持ち良いのかな…？

私、したことないから…分からないけど

そのおちんちんが、この…膣の中に、入っていくんだよね

中指よりも太くて大きいのが、おまんこの一番奥…行き止まりまで入って…

出っ張ったカリ首が、濡れた膣の壁を…何度も、何度も…なぞって…

んつ、ああ…想像するだけで、私…もう…んんつ、ああ…

君も、いきそう…なんだね？　なら、一緒に…いこう？

想像してみて…

温かいおまんこの中に入る、その感触

私たちは、一緒に…気持ち良くなれる。セックス、できるんだよ

んつ、ああ…おちんちん、気持ち良い…！　もっと、もっとお…！

指じゃ届かない、深いところも、…んんあつ、ああ…

あったかい…奥の方まで満たされて…幸せ…んあつ、ああつ、あんつ、あつ、あああつ！

セックス、良いよお…あああつ、いく、いっちゃうう…！

あんつ、あんつ、ああ…！　んんつ、くつ、ああ…っ！

おまんこの奥に、精液注いでえ…！　私の、中にい…！

んんあつ、あつ、あつ、ああ…！　いく、いくいく、んんあつ、あつ、んんう—っ！

あああつ、ひやああ—んんうっ！　んあつ、あつ、はああ…はあ…っ、ん、ああ…

はあ…本当に、セックスしてたみたい…ん、ああ…

こんなに気持ち良いオナニー、初めてかも…ん、はあ…

君も、たくさん精液出せたね…ふふ…また、ムラムラしたり、眠れない時は…

お姉ちゃんと一緒に、気持ち良いこと、しようね

■ お姉ちゃんと一つに...

【美佳】

やっぱり、起きてくれたんだね
いつもの...オナニーの時間だから

お姉ちゃんと気持ち良いことするの、待ちきれなかった？

実はね、私は、違うこと考えてると思うの

もちろん気持ち良いことっていうのは、おんなじだけど...

それはオナニーじゃなくて...セックス、なんだ

一人じゃなくて、本当に二人で一緒にするエッチ...

あの日から、君と...繋がりたいって、一つになりたいって、思うようになって...

あの時の気持ち良さが、全然頭から離れなくてね...私、もう、我慢できないの

こんな...エッチなお姉ちゃんのこと、受け入れてくれる？

...ありがとう、私も君のこと、大好きだよ

...こっち、来て

...ん、ちゅっ、ちゅうっ、ちゅっ、んれろ、んんう...ちゅう...はあ

キス、しちゃったね

でも...まだ足りないよ

もっと、君の身体に触って...深く...繋がりたいから...裸になって、ベッド、いこう？

【美佳】

ん...君は、寝たままで良いからね

私が上になって、おちんちんを、中に...

...ん、ああ...君のおちんちん、おまんこの入り口に、触れてる...っ

こんなに、熱いんだ...ん、これが、私の中に...ん、あ、ああ...

中指で、届くところよりも、もっと奥に...

んんう、きついところ、おちんちんの形に、広げられて...あ、あああ...

太いの、全部、入っちゃー

んああっ、あ、はああ...おまんこの中、いっぱいになって、る...

今日は、お姉ちゃんのおまんこで、君のおちんちん、抜いてあげるからね。

おへその下、あったかい…身体だけじゃなくて、心も、満たされてるよん、はあ…でも、もっと君のこと感じたいから、このまま動いちゃうね…
…ん、私なら、大丈夫だよ

確かに…初めてだけど、お姉ちゃんは、強いから
一緒に、気持ち良くなるうね…？

ん、ああ…ひあつ、あ…んう、ほら、中の感触、伝わってる？

愛液で濡れてる、おまんこの中…あったかい、よね…？

んんあつ、ああ…ふあつ、あん…私も、おちんちんの硬さ、感じてるよ…
んっ、あつ、ああ…っ、気持ち、良い…

お腹の奥まで擦れて…あああつ、んんっ、ふあつ、あん…

はあ…オナニーするのと、全然…違うう…

おちんちん、奥深くまで、突かれて…

んあつ、あつ、んんっ、子宮、大事なところ、揺れてる…のお…ふあつ、あんっ
しあわ、せえ…んあつ、あつ、んあつ、あああ…！

君のおちんちんも、おまんこの中で悦んでるの、分かるよ…んあつ、あんっ
あああつ、んあつ、あん、ふあつ、あつ、んんう…！

奥、グリグリってするの、好き…！

亀頭が、一番深いところで、グリグリってえ…

あああつ、んんっ、あつ、あんっ、あああ…！

私、今よりも、君のこと感じたいから、このまま身体…前に倒しちゃうね
んっ、ああ…私のこと、受け止めて…？

あつ、んあつ、あああ…

んう…はあ…君の顔、とっても近くなったね…

ん…ちゆうっ、ちゆうっ、んれろ、んちゆう…

はあ…もっと、いっぱい、舌を絡めて…んれろ、れろ、んれろ、んちゆう…んれ
ろ、れろ、んれろお…はあ、んちゆうっ、ちゆうっ、ちゆうう…はあ

キス…甘かった？ えへ…んっ、あん…私も、君とのキス、甘く感じたよ…

んあつ、ああ…ん、ちゆうっ、ちゆう…はあ、あつ、んう…！

この体勢…おっぱいが、びったりくっ付いて…んあつ、中も、さっきより、擦れてるう…
あつ、んあつ、乳首、指でコリコリ弄っちゃだめえ！

ふあつ、あんっ、んんあつ、ああっ、おちんちん、気持ち良いよお…
でも、もっと激しくう…君のおちんちん、欲しいからあ…

お姉ちゃんのおまんこで、もっとシコシコしてえ！

あああつ、んあつ、はあ…すご、いい…！
ふあつ、あんつ、あああ…！ 私、初めてなのに、こんなに感じちゃって…
んあつ、ああ…！

君とだから、かなあ…相性良すぎてえ、頭、ぼーっとして、くるう…
んあつ、あつ、んあつ、ひゃん！ お尻、両手で掴まれて…ふあつ、あんつ、ああつ、ふ
あああ…！

はげ、し…ッ、私、い、くう…気持ち良いの、だんだん、昇ってきてる、よお…
あああつ、ふあつ、あん！ 君も、おちんちんびくってして…精液、出そうなの？
んんあつ、ああ…良いよ、一緒に…いこう？ んあつ、ああ…！

私ね、今日のこと、絶対、忘れないよ…？

頭の中、気持ち良さと、君への、大好きが、溢れて…ふあつ、ああ…！
好き、い、大好、きい…んあつ、あつ、ああん！

まだ、君と繋がって、いたい…んあつ、あつ、あん…！

ふああ…っ、もう、い、くう…！

君も…一緒、だからね…ふあつ、あんつ、んあつ、ああ…

私の中に、精液、たくさん出してね…っ

全部、おまんこの奥で、受け止めるからあ…

もっと、おちんちん、締め付けてあげるね…

んあつ、ああんつ、ああつ、ひあつ、あんつ、あああつ、あッ、あああ…！

私の初めて、貰ってくれて、嬉しかったよ…

このセックスが終わっても、ずうっと、側にいるからね…

ふあつ、あああつ、あつあつあああつ、んあつ、おまんこ、ダメえ、

ああつ、いつ、くうう…っ

いっちゃ—ッ！？ ひゃああんっ—！

ふあつ、あああ…！ んんんうう…！

んあ…あ、ああああ…精液、いっぱい出てるう…はあ、はああ…っ

お腹、あったかい……んう…ちゅっ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう……はあ

もう少しだけ、このまま…

君と、繋がって、良い？

じゃあ、このままくっ付いて…私の温もり、感じてね
ん、はあ…はあ…

ねえ、私のこと…… みか）美佳って、呼んで？

…ふふ、大好き——ちゅっ

すーっと、一緒だからね…

END)